

テーマは「思いやり」 エコライフについて考えます。

思いやり通信 NO. 1

平成29年 8月の思いやり通信



インターネットにつながるエアコンがすでに約430万台

・ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）：実質的なエネルギー消費量をゼロにする住宅。ZEH向けの補助金「ZEH支援事業」の2016年度の申請件数は過去最多の9993件に達し、交付決定件数は6356件。

・日本では、家電をインターネットにつなぐための統一規格「エコーネットライト」が2013年度にスタート。

（2017年7月28日 日本経済新聞記事から抜粋引用）



エコライフ -

パッシブデザインが必要な時代が迫っている その3

省エネ地域区分の変更と「低炭素住宅」基準の役割

・地域によって気候は異なり、冷暖房などにかかるエネルギー量にも差があるため、住宅の省エネ性を割り出すにあたり、国は地域別の判断基準を定めています。平成25年基準からは、全国を6地域に区分していたのが、8つに細分化されました。

・2012年12月に施行された「都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法）」により、「低炭素住宅」が導入されました。多くのCO₂が排出される地域での低炭素化を促すために制定された制度です。

・一次エネルギー消費量が省エネ基準よりもマイナス10%以上になっている、省エネ基準と同等以上の断熱性能が確保されているといった要件をすべて満たすと、低炭素住宅として認定され、税制やローン金利の優遇措置を受けることができます。

（高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋）

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com
大阪市大正区千島3-18-9 TEL06-6552-0781

山忠木材株式会社